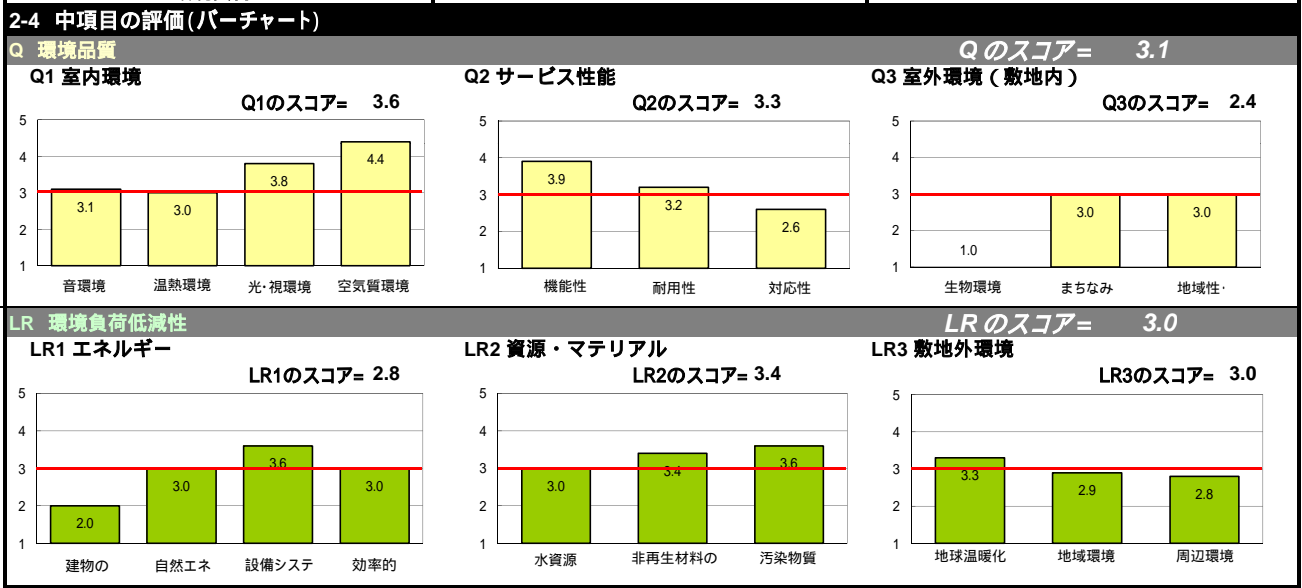
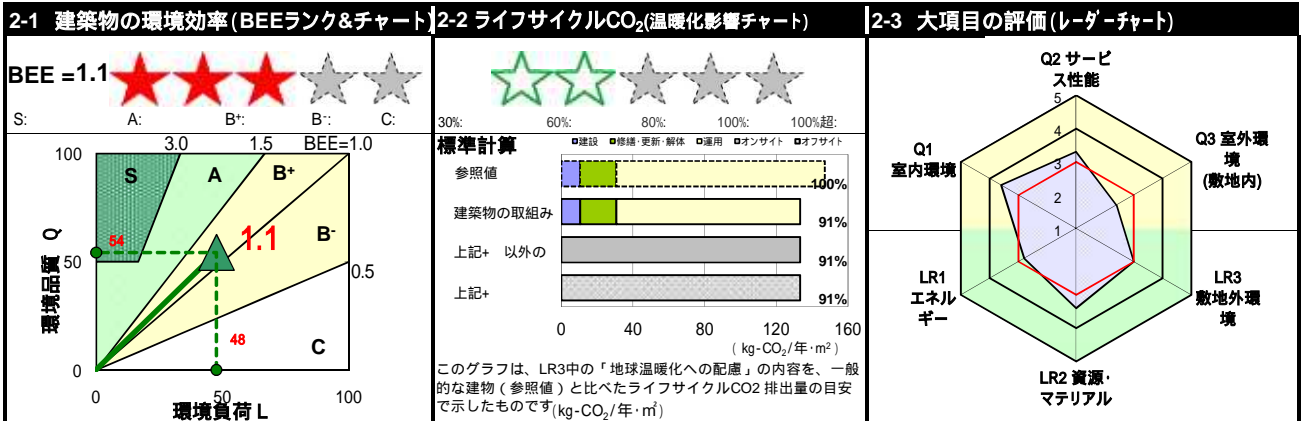


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホーム 秦野陽光園	階数	地上4F
建設地	秦野市首屋字猪頭1177番1ほか	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	150人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年1月 予定	評価の実施日	2013年12月5日
敷地面積	4,666 m ²	作成者	(株)渡辺建築設計事務所
建築面積	1,511 m ²	確認日	2013年12月5日
延床面積	5,651 m ²	確認者	(株)渡辺建築設計事務所



3 設計上の配慮事項

総合	その他
特別養護老人ホームに居住される高齢者、デイサービスを利用される高齢者が快適に過ごすことのできる施設造りに配慮すると共に、地域の防災拠点としての位置づけとします。	特に無し
Q1 室内環境 施設で暮らすお年寄りに明るく、静かで快適な環境の提供とプライバシーを確保した施設づくり 秦野市の土地柄、一般的な設定値より高く室温の調整が可能なように設備容量に配慮	Q3 室外環境(敷地内) まちなみの景観に配慮し、勾配屋根や外壁等の色について秦野市の生活美観ガイドラインに沿った設計
LR1 エネルギー	LR3 敷地外環境 標準的レベルのクリアに努める
Q2 サービス性能 標準のレベル3を確保しつつ、非常用発電設備を備え災害時に地域の避難施設となりうる施設づくり	LR2 資源・マテリアル 高齢者施設である故、特に有害物質を含まない材料の使用に努めています

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される